



問 衛生面や防犯面でも周囲に悪影響を及ぼす空き家の対策を

管理不全空家等とは、窓や壁の一部が腐食・破損、落下の可能性がある、雑草や枯れ草が管理されていない、敷地内にゴミなどが散乱、放置されているような、放置すれば特定空家等になるおそれのある空き家である。このような状態の空き家を管理不全空家等に認定し、指導・勧告する考えは。また、ふるさと納税の返礼品に、「空き家等見回りサービス」を追加する考えは。

答 早期に管理不全空家等の判断を行うために準備を進めている

現在、管理不全空家等となるおそれのある建築物のリストアップ作業を進めるとともに、国から示されたガイドラインに基づきチェックリストを作成している。完了次第、津市空家等対策委員会において議論、検討いただき、できるだけ早く現地調査に取りかかるよう準備を進めている。

ふるさと納税の返礼品については、現在県内7市町で事例があり、これらの市町にヒアリングを行ったところ、返礼品として選択される実績は少ないなどの課題もあるようであるが、空き家対策に資する手段の一つと考え、津市空家等対策委員会の意見も聞きながら、検討を進めていきたい。

その他の質疑・質問

- 「津市水道事業における維持、修繕業務に関する調査結果報告書」について
- 所有者からの空き家の活用や管理方法についての相談への対応や所有者と活用希望者のマッチング等を行う「空家等管理活用支援法人」の活用は
- 第33回津市友好訪中市民団からの報告は
- 津市青少年友好訪中団からの感想は **など**

▶ 鎮江市との覚書にある「次世代を担う青少年の交流の促進」が図られた津市青少年友好訪中団



問 学生の社会的つながりを育むための公共スペースの充実を

学生から、友達とコミュニケーションを取りながら勉強や飲食ができる公共スペースが不足しているとの意見がある。また、学生にとっての居場所は、孤立防止になったり、交流を通して社会的なつながりが生まれたり、ストレスが解消されたりすると聞く。幅広い年代の居場所となる公共スペースをより充実すべきだと考えるが、若者や学生との対話の場に参加した市長の考えは。

答 学生らが集える場所の必要性について認識し検討を進めている

現在、津駅の新しい形を検討している中で、若者や学生が集える場所が必要だという議論が多く交わされており、若者らが一定時間過ごせるような場所を作ることの重要性を認識している。

また、津センターパレスについては、それほど学生が多い場所ではないが、そういったことも踏まえて活用方法を検討していく。

津市久居アルスプラザのロビーには、若者が多く集い、生き生きとした活気をもたらしており、これからの公共施設には、このような場所をしっかりと作っていくことが大切だと考えている。

今後も知恵を絞り、検討を進めていきたい。

その他の質疑・質問

- 津市安濃中央総合公園内野球場の指定管理について
- 台風第10号の被害について
- 誰もが自分らしく活躍できるためのスポーツ振興について
 - パラリンピックについて
 - 郷土愛を育む教育について

▶ 誰もが自分らしく活躍できるためのスポーツ振興を

